

## ENIGMA ZOOMER-X(FI) 取り付け、接続方法

本マニュアルの対応機種 下記組み合わせ以外には対応しません。

対応 ENIGMA ENIGMA (EBD345)

対応車両 HONDA ZOOMER-X(FI)

取り付け作業は安全な場所で正しく行って下さい。

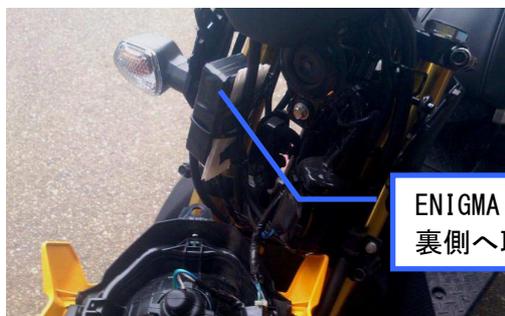
基本的な ZOOMER-X(FI) の整備知識が必要です。



ECUはこのカバーを外した中にあります。



これが ECU です。



ENIGMA はライトの裏側へ取り付けます。

ノーマル車両には、車両に乗った状態の正面のカバーの中に ECU があります。カバーを外すには、プラスドライバーが必要です。カバーを外すと ECU がゴムマウントされています。ECU に繋がってるカプラーを外し、配線を加工して ENIGMA を割り込みさせて下さい。ENIGMA はライトの裏側へ取り付けます。ENIGMA は近くに水に濡れないよう取り付けてください。

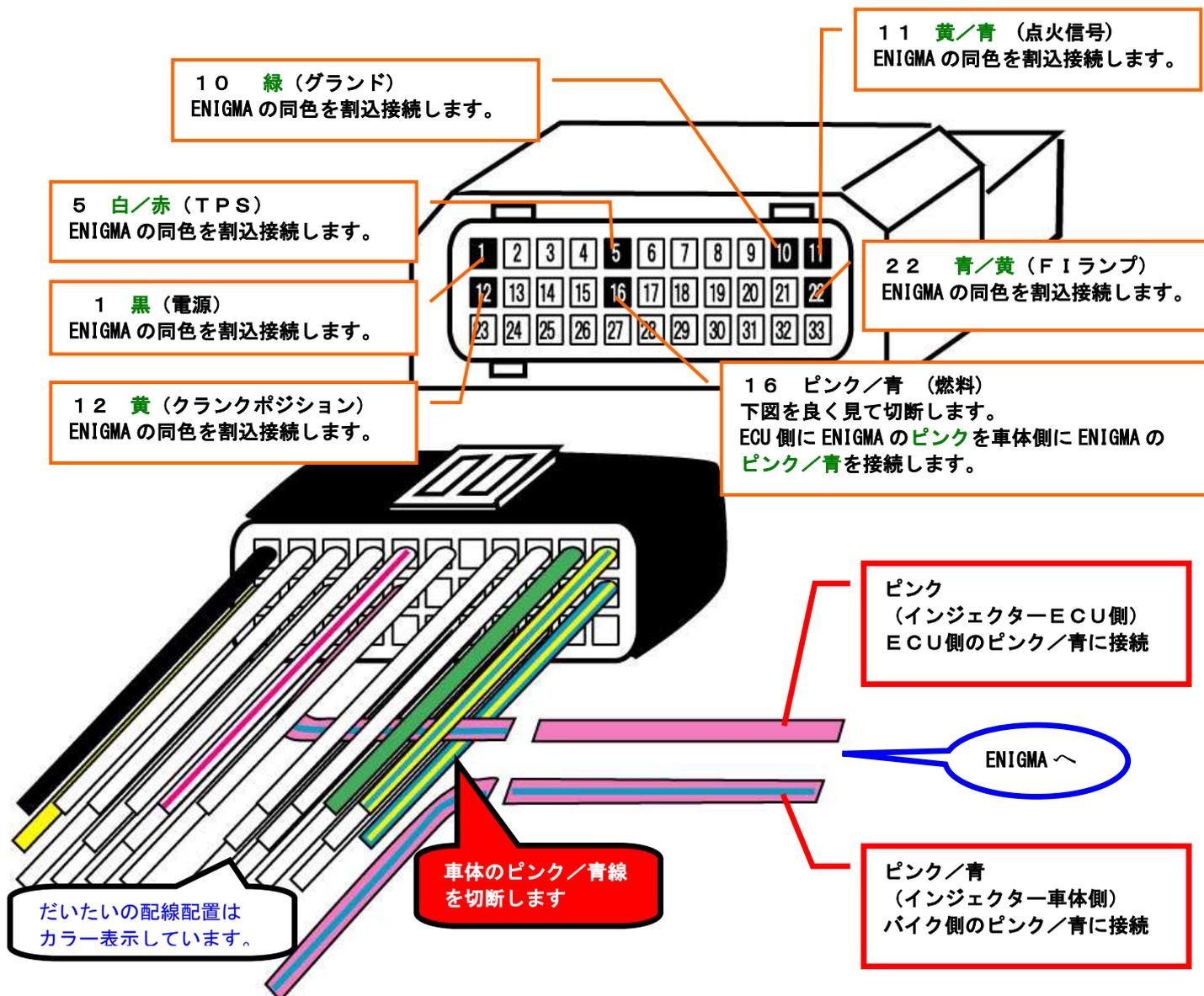
カプラー側の配線に ENIGMA 配線を **割り込み接続** します。

(割り込み接続とはノーマルの配線を切断せずに分岐する様に接続する事です。)

割り込み配線接続は、エレクトロタップやギボシを使用しないで下さい。接続トラブルが多く ENIGMA の動作に問題が起こります。(ハンダ付け等での作業で信頼性が向上します。)

- 基本的に ENIGMA から出ている配線色と接続する車両の配線色は同じか、もしくは近い色になっています。下記の図を良く見て正しく接続して下さい。ENIGMA から接続する配線は全部で 8 本です。  
ムラサキ線はサービス出力線なので ECU には繋ぎません。  
使用しないときは絶縁・防水処理をしてください。
- ※ 下図の ECU の 16 番端子 (ピンク/青) へ接続されている線を切断して、ENIGMA からの配線でバイク車体側にピンク/青線を接続、ECU 側にピンク線を接続して下さい。接続には極性がありますので、下図でよく確かめて間違いの無い様に接続して下さい。
- ※ ZOOMER-X はバイクの構造上、特に水がかかりやすいので、ビニール袋で覆うなどの処置をしてください。
- ※ 本体に直接水がかからないようにして下さい。また配線の根元から水が入るのを防止するため、配線側を下にして設置して下さい。

- 下図を良く見て配線位置など間違わないように作業してください。



- ECU端子で繋ぐのは1、5、10、11、12、16、22の7箇所です。上図で良くご確認下さい。
- ムラサキ線はサービス出力線です。ENIGMAはクランク1回転に1回、5Vを出力します。市販の殆どのデジタルタコメーターなどに対応します。この線に繋がれば正確な値が表示される等色々な事に応用出来ます。必要が無い時はテーピングしてショートしないようにして下さい。
- 配線接続が終わってもリミッターは解除されていません。パソコンもしくはスマホでENIGMA操作ソフトと通信すると簡単に設定が出来て解除出来ます。
- PC用ソフトは機種専用 ENIGMA ZOOMER-X(FI)用ソフトをお使いください。他のバイク専用のバイクモデルやENIGMAの他シリーズ用のアプリは使用できません。
- iOS用アプリ、AndroidアプリはENIGMA専用アプリをお使いください。ENIGMA専用アプリは、アプリ内でZOOMER-X(FI)専用バイクモデルを購入することによりZOOMER-X(FI)用ENIGMAで使用することができます。他のバイク専用のバイクモデルやENIGMAの他シリーズ用のアプリは使用できません。
- PC用ソフトやマニュアルは下記当社ホームページより無料にてダウンロードできます。iOS用アプリ、Androidアプリは下記当社ホームページから販売サイトへのリンクがあります。

<http://www.dilts-japan.com/download.html>